

IASSIDD 知的障害アカデミーワークショップ

早稲田大学(東京)

2013年8月21日および24日

すべてのワークショップは早稲田大学で実施されます。
英語のワークショップには日本語と英語のパワーポイントが提供されます。
ディスカッションにおいては日本語で参加する機会も提供されます。
詳細情報についてはRoy Brown教授までお問い合わせください。
メールアドレスは以下の通りです: roy.brown@iassid.org

参加方法:

- ①参加費を以下の振込先へお振り込みください。
- ②その後、Roy Brown教授 <roy.brown@iassid.org> まで振込報告と参加希望ワークショップの番号(1、2、3)をお知らせください。

振込先:みずほ銀行 郡山支店(番号724)

口座番号 1191022 合同会社ジェロントロジーセンター

ワークショップ1

ライフスパンにおける家族のクオリティオブライフ(QOL)

このワークショップでは、障害のある人々と家族のQOLについてお話し致します。子供から青少年、成人そして高齢者のQOLについてお話しし、調査で分かったことを報告致します。また、これらの調査結果をQOLを高めるために有効活用する方法についてもお話し致します。このワークショップは、ご家族や介護・支援スタッフ、そしてそのほかの関連専門職の皆様にとっても役に立つものになることでしょう。

日時:8月21日水曜日14:00~17:00

発表者:Ivan Brown教授(PhD)、Roy Brown教授(PhD)、洪 金子教授

場所:早稲田大学 早稲田キャンパス 18号館(総合学術情報センター)国際会議場第一会議室

参加費:¥6,000/US\$55.00

ワークショップ2

発達障害のある青年期および成人期の人々の精神および行動障害について

このワークショップでは、発達障害を持つ人々の精神および行動障害の原因に関して新たに分かったことについてお話し致します。不安障害、うつ病、精神病などの精神障害のある人々に、いかに支援を提供できるかについてをお話しし、支援に当たっての成功事例を用いて紹介します。このワークショップは、精神保健の専門家並びに精神保健の現場に携わる方々など、行動障害のある人々に関わる皆様にとって興味深い内容となることでしょう。

日時:8月21日水曜日14:00~17:00

発表者:Angela Hassiotis博士(MB/BS, PhD)

場所:早稲田大学 早稲田キャンパス 18号館(総合学術情報センター)国際会議場第三会議室

参加費:¥6,000/US\$55.00

ワークショップ3

発達障害のある大人たちや子供たちがともに楽しむおはなし

このワークショップでは、ストーリーテリング(おはなしを語ること)や読み聞かせを取り上げます。障害のある人々が、人生には何が大切であるかをより深く理解し、そのことについて語るために、ストーリーテリングの果たす役割を明らかにします。イギリスの知的障害者グループでのストーリーテリング実践や各国の実例の他、日本の例としては、語り手として活躍している養護学校の卒業生の語りや、重度の自閉症児の母親の描いた絵本、特別なニーズを持つ人々のための紙芝居を通しての実践などを、豊富に学ぶことができます。このワークショップは、教育の場ではもちろん、養護あるいは介護支援関連で働く方々および家族の方々にも興味を持っていただける内容になっています。

日時:8月24日土曜日14:00~17:00

発表者:Nicola Grove博士(PhD)、光藤由美子・語り手(MLitt)、野間成之・紙芝居演者(BA)、小林サヤ佳・語り手、姫野ちとせ・イラストレーター

場所:早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館503号室

参加費:¥6,000/US\$55.00